

東洋英和女学院大学大学院

2015年度

前期入学試験問題

人間科学研究科 修士課程

(人間科学専攻)

共通小論文

東洋英和女学院大学大学院 2015年度 前期入学試験

春季選抜 問題

人間科学研究科 修士課程

人間科学領域・幼児教育コース 共通小論文

I

別紙－1の文章は、若松英輔著『生きる哲学』の中の序章「生きる 言葉と出会うということ」の一部である。

著者は、「私たちは多くの言葉を知っている。だが、知ることと生きることは違う。」と述べているが、知ることと生きることは、どのように違うのが、具体例を上げて、分かりやすく説明しなさい。（600字程度）

II

別紙－2の文章は、霊長類学者の山極寿一氏が、昨今の日本の社会や家族のありようを、人間と人間社会の本質に照らして疑問を呈したものである。

これを基に、今の日本の家族に見られる問題とその解決策を、具体的な現象を織り込んで、論じなさい。（600字程度）

「出典」

『生きる哲学』 若松 英輔 著 文春新書 1001

文藝春秋 2014年

「序論 生きる 言葉と出会うということ」  
7頁～11頁





